

# 平成 28 年度自己評価公表シート

平成 29 年 3 月 31 日  
学校法人 玄海学園  
貝塚幼稚園  
園長 庄 司 誠

## 1、本園の教育目標

○総目標 ひかりのこども

○教育目標

- ①心身共に健やかなで明るくのびのびした子ども
- ②友達と仲良く遊べる子ども
- ③情操豊かで素直な子ども
- ④よく考え根気強く最後までがんばる子ども
- ⑤ありがとう、ごめんなさいが言える子ども

○教育方針

強く・正しく・やさしく・愛らしく・やる気・元気・根気を育てる教育

以上の教育目標を掲げ、幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と充分にかかわって展開する生活がなされるように配慮し、遅くそしてしなやかな心と体を持った 21 世紀の日本を支える人間力を身に着けた子どもを育てていく。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

課 題	具体に取り組むべき内容
五感に働きかけた保育の充実	6 年間にわたるアイランドシティへの園外保育から得られた成果を踏まえ、今後も継続し幼児が自然とのかかわりを深めることができるよう更なる工夫・検討・実施を行い保育の質向上に努めていく。
食育への取組	7 年間の食育活動の成果を踏まえ、PDCA サイクルを通じた質の向上を行っていく。
保育研究の実施	教職員の研鑽を高めるために保育学会への参加、発表を考えていきたい。
教育の充実を図る	沢山の個性を持った子どもたちに対応し、きめ細かい配慮が出来る環境を整える。
園舎環境の整備	備品・ホール環境の整備（照明・ステージ幕）

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
五感に働きかけた保育の充実	<p>アイランドシティへの園外保育の実施は年長 10 回、年中 11 回、年少 10 回と年少の 4 月と夏休み、注意報や警報以外はほぼ実施することができ、その時期その時期の植物、草花、生き物に触れ、五感をフルに使って自然環境に親しみ、沢山の感動体験をしてまいりました。毎回違う表情を見せる自然に対して好奇心を擦られ心も体も解放され、主体的に外界に関わっていく姿、野を駆け回ったり、芝を転げ回ったりする子どもたちの姿は解放感に満ち溢れとてもいい表情をしていた。時にはどんぐり拾いや凧揚げなどの活動計画を入れることで環境を生かした保育の質向上が図れた。特に本年度は年長組の子どもたちが辞典を持って生き物を調べたり、関心を寄せたり、園に生き物を連れて帰り、教師と一緒に育てていくことで命の大切さをより鮮明に体験したと思う。また教諭森田先生の「こども環境管理士」資格取得は今後の更なる取り組みでの成果が期待できるものである。</p>
食育への取組	<p>7 年間の食育活動の成果を踏まえ、平成 28 年度食育担当教諭、クラス担任との情報共有の時間を設け、新たな年間指導計画を作成し、5 歳、4 歳、3 歳の発達段階に合わせた取り組み方で各学年実施する事ができた。本年度も PDCA サイクルによる保育の質向上を図ってきたおかげで年度末の保護者アンケートから目に見える成果をあげることができた。また、食育担当教諭の食育ブログを通して保護者への発信、地域の方々への発信により当園の取組に対する理解も深めることができた。残念ながら担当教諭が育休中であるため、保護者の方々に対する食育活動の機会を毎学期に 1 回（年 3 回）は行うことができなかったが、食育参観の実施は年 3 回を実現させ、更なる理解を深めることが出来た。また担当教諭（大友）が福岡市を代表する「食の団体 NPO 法人食育推進ネットワーク」への講師陣加入は当園の食育活動が広く認められた証であり名誉なことであると同時に園のブランディング化に大きな成果を上げている。</p>
保育研究の実施	<p>本年度、東京で行われた第 7 回幼児教育実践学会において園長自ら、そして東京家政大学教授那須信樹先生、香蘭女子短期大学准教授宮崎貴美子先生と共に「多資格・多職種協働による保育パラダイムの転換」に関する口頭発表を行い、幼児教育研究機構理事長より園長、那須教授、宮崎准教授に研究発表賞を頂きました。全国の学会で発表することを通して、私どもの研鑽及び自信、ひいては幼児教育の発展に寄与できたのではないかと考えています。</p>
教育の充実を図る	<p>補助教諭を充実させることで、さまざまな個性を持った子どもたちへの配慮・対応を行うことができた。</p>
園舎環境の整備	<p>昨年の大改修工事を終え、その際整備できなかったホール環境（照明・ホール暗幕）の整備を行うことができた。</p>

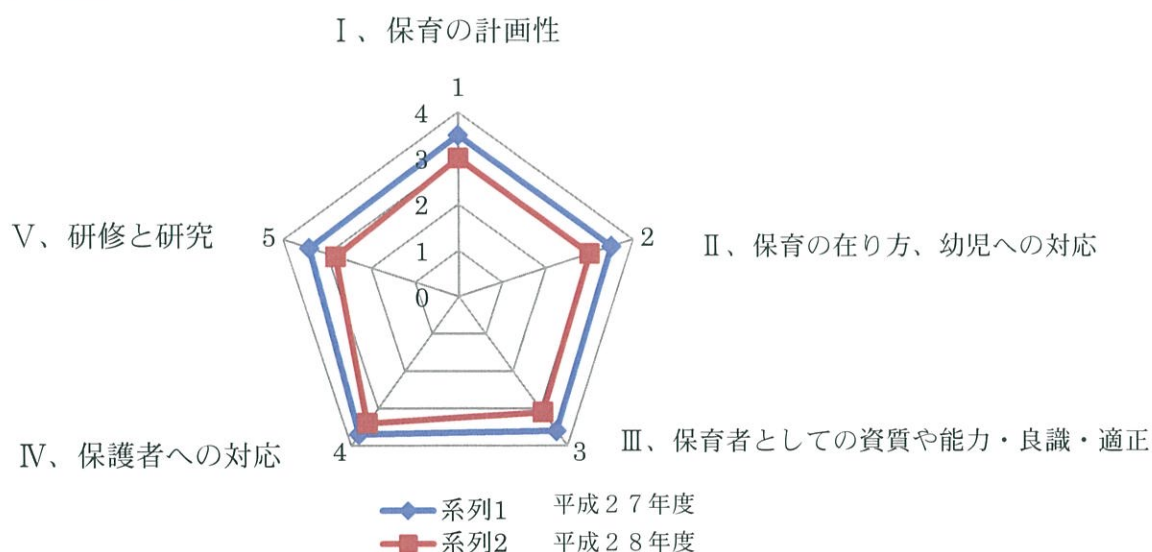
#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、4月当初に園長作成の平成28年度事業方針「Let's make the future together」を全職員で確認、職員全員に本年度取り組むべき課題や方向性を示し取り組んできた。職員一人ひとりの自己評価も踏まえ取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを具体的に実践する礎とすることができた。

#### 5、今後の取り組むべき課題

課 題	具体に取り組むべき内容
五感に働きかけた保育の充実	7年間にわたるアイランドシティへの園外保育から得られた成果を踏まえ、また子ども環境管理士である森田先生との連携を生かし、今後も継続し幼児が自然とのかかわりを深めることができるよう更なる工夫・検討・実施を行い保育の質向上に努めていく。
食育への取組	8年間の食育活動の成果を踏まえ、PDCAサイクルを通じた質の向上を行っていく。また NPO 法人食育推進ネットワークとの連携を通して、本園「食育」の更なる社会的周知を実現していく。
保育研究の実施	教職員の研鑽を高めるために保育学会への参加、発表を考えていきたい。
教育の充実を図る	沢山の個性を持った子どもたちに対応し、きめ細かい配慮が出来る環境を整える。
園舎環境の整備	保育室のエアコン設置の検討及び運用指針の策定を考えていく。

#### 6、教職員の自己評価集計



#### 7、学校関係者の評価

園の教育方針に沿い、園長の事業方針が明確化され、職員一丸となって教育活動に従事していることがよくわかり、特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められている。

#### 8、財務状況

公認会計士監査により、適切に運営されていることが認められている。